

日本・OECD共同イニシアチブプロジェクトの取組報告

コンピテンシー(資質・能力)を授業で育成するには？

—東京学芸大学の取組—

岸 学

(東京学芸大学 名誉教授)

(東京学芸大学次世代教育研究推進機構:NGE)

(manabu@u-gakugei.ac.jp)

1 前提：授業でコンピテンシーを育成するための前提を示す

2 教科：教科指導でのコンピテンシー要素を明らかにする

- (1) 教科による内容の違い
- (2) 多彩な相互作用

3 指導：授業でコンピテンシー育成を実践する

- (1) 指導案の工夫
- (2) 教員の協働体制
- (3) 授業の手立ての明示

4 普及：コンピテンシー育成授業の普及システムを構築する

⇒ 21CoDOMoS

1_前提 : 汎用的スキルと態度/価値の要素はどのようなものか？

* 教科教育・教科専門教員への調査結果をもとにカテゴリー分類とその命名



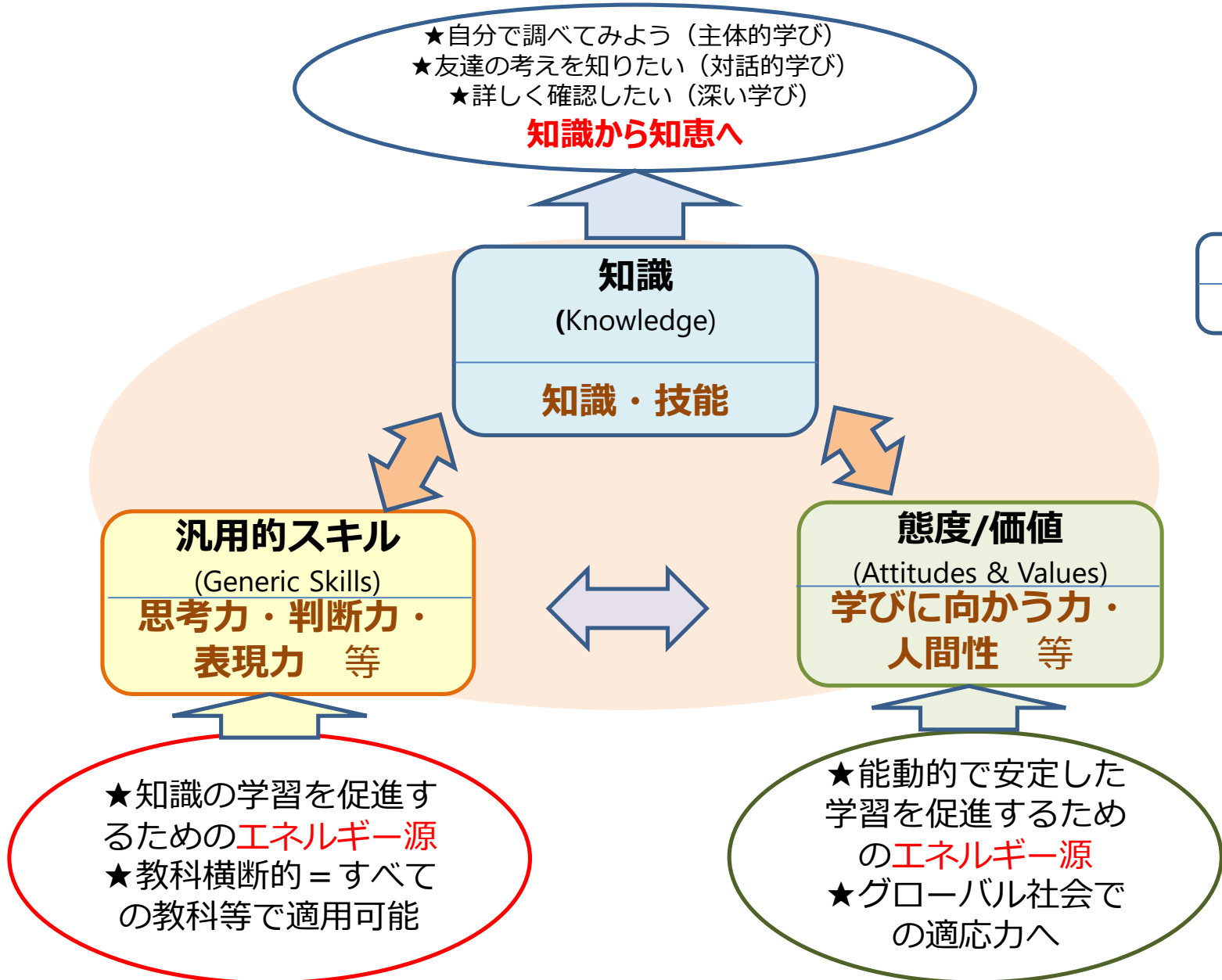
汎用的スキル（7つ）

- 批判的思考力
- 問題解決力
- 協働する力
- 伝える力
- 先を見通す力
- 感性・表現・創造の力
- メタ認知力

態度・価値（8つ）

- 愛する心
- 他者に対する受容・共感・敬意
- 協力しあう心
- より良い社会への意識
- 好奇心・探究心
- 正しくあろうとする心
- 困難を乗り越える力
- 向上心

1_前提 : 知識・汎用的スキル・態度/価値の相互関係



1_前提 : 汎用的スキルを育成可能と考えているか？

小学校教員の回答(N=500)

	批判的 思考力	問題 解決力	協働 する力	伝える 力	先を 見通す 力	感性 表現 創造	メタ 認知力
国語	5.24	5.04	4.92	5.87	4.85	5.18	4.92
社会	5.27	5.35	5.03	5.35	5.03	4.46	4.77
算数	5.16	5.75	4.81	5.32	5.39	4.37	4.87
理科	5.33	5.72	5.20	5.28	5.52	4.80	4.91
外国語活動	3.83	4.01	4.53	5.13	3.97	4.51	4.21
音楽	3.97	4.18	5.24	4.88	4.14	5.67	4.39
図工	4.00	4.38	4.68	4.76	4.70	5.77	4.40
体育	4.19	4.91	5.41	4.51	4.88	4.73	4.68
家庭	4.25	4.79	5.18	4.53	4.83	4.80	4.49
生活	4.17	4.92	5.28	5.23	4.68	5.13	4.47
道徳	4.92	4.62	4.81	4.99	4.64	4.47	4.89
総合	4.98	5.50	5.50	5.63	5.22	4.98	4.92
特別活動	4.96	5.35	5.69	5.48	5.17	4.71	4.94

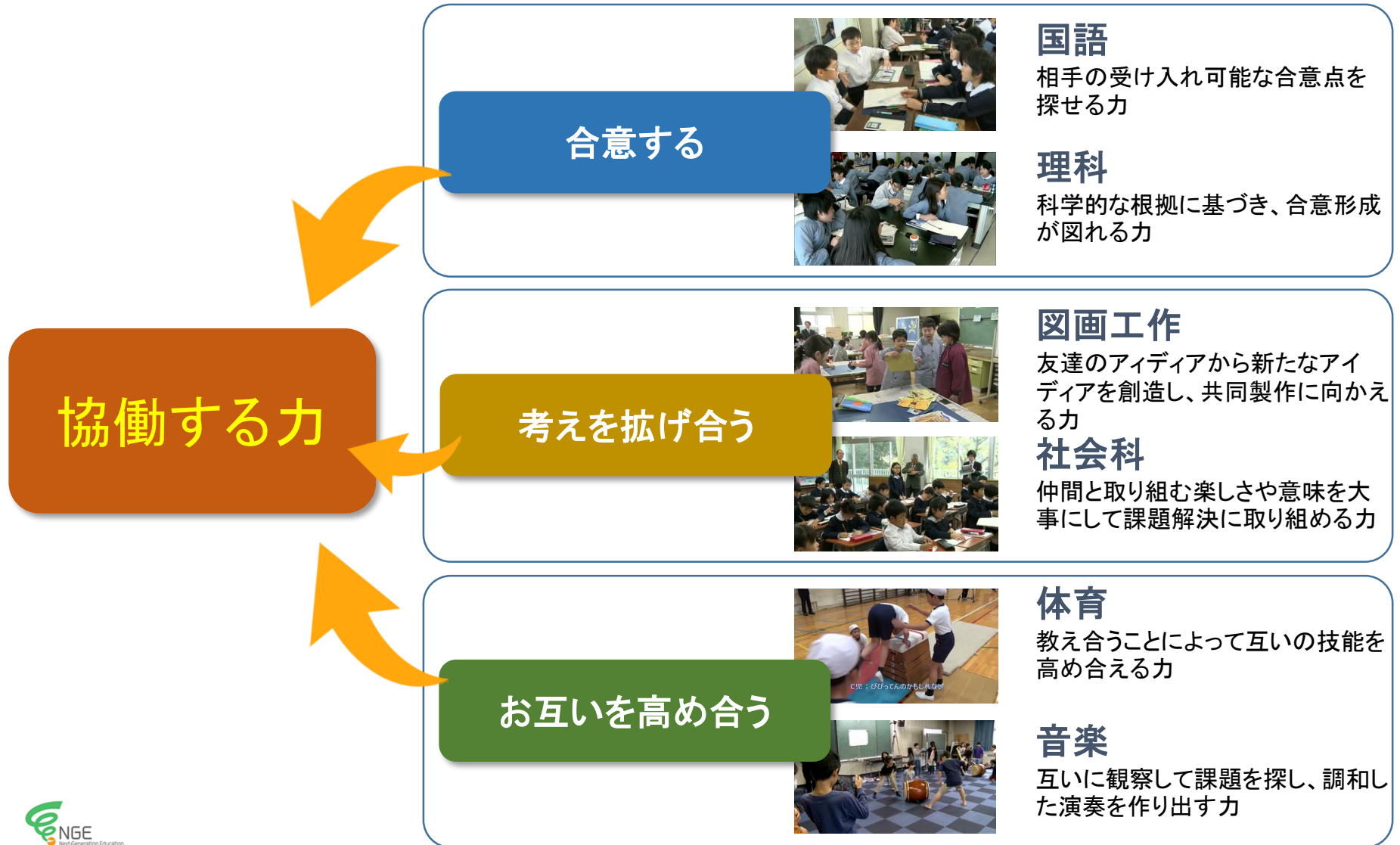
中学校教員の回答(N=400)

	批判的 思考力	問題 解決力	協働 する力	伝える 力	先を 見通す 力	感性 表現 創造	メタ 認知力
国語	5.26	4.90	4.80	5.63	4.75	5.06	4.85
社会	5.19	5.08	4.82	5.15	4.90	4.29	4.71
数学	4.80	5.35	4.54	4.76	5.02	4.13	4.65
理科	5.00	5.36	5.04	4.93	5.21	4.49	4.79
英語	4.33	4.48	4.68	5.32	4.26	4.51	4.45
音楽	4.05	4.19	5.00	4.88	4.04	5.56	4.31
美術	4.15	4.20	4.47	4.82	4.26	5.61	4.35
体育	4.16	4.68	5.33	4.50	4.66	4.66	4.48
家庭	4.30	4.77	5.11	4.57	4.75	4.79	4.42
技術	4.23	4.80	4.84	4.45	4.84	4.86	4.35
道徳	5.01	4.76	4.81	4.96	4.63	4.47	4.77
総合	4.82	5.16	5.30	5.27	5.01	4.71	4.78
特別活動	4.93	5.22	5.47	5.24	5.08	4.70	4.80

※平均評定値が5~7（育成できる）になったセルを、値の大きさに応じて赤く表示

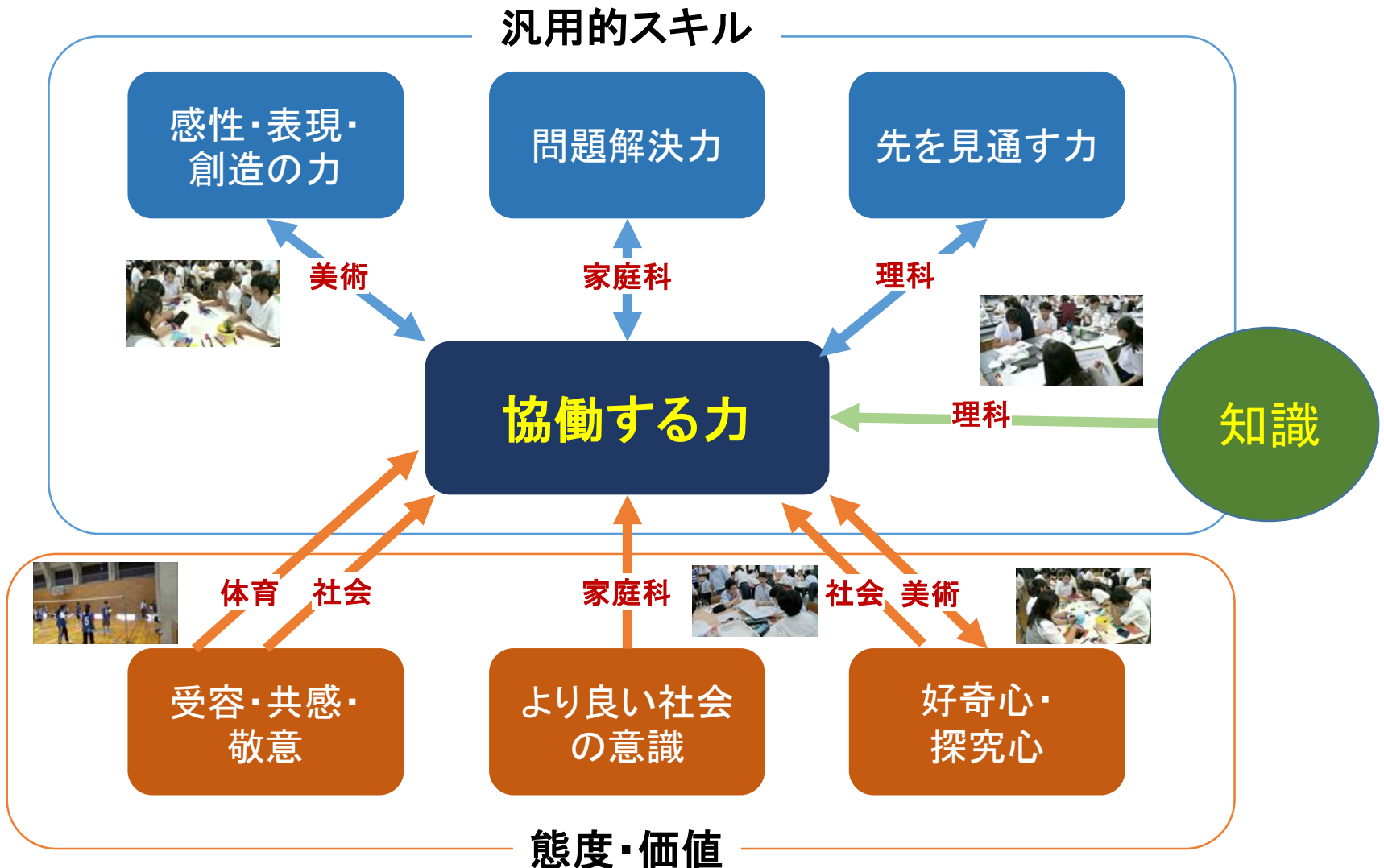
⇒殆どの教科等で汎用的スキル要素の育成が可能と考えている（態度・価値も同様）

2-(1) 教科 : 「協働する力」は教科によりさまざまである



2-(2) 教科：「協働する力」は他のコンピテンシー要素と相互作用をする

「協働する力」と相互に影響するコンピテンシー要素と教科の例



⇒教員が連携し、いろいろな教科等で多種のコンピテンシーを育成

3-(1)指導 : コンピテンシー育成を意図した共通指導案を作成

- ★コンピテンシーの育成を意図した学習指導案を作成
- ★小中学校の全教科で共通のformat
- ★コンピテンシー要素の指導目標明記
- ★指導上の「手立ての工夫」を明示

単元の中に含まれている、**批判的思考力・協働する力・より良い社会への意識**、の側面を解説

①汎用的スキル(記載例)

- ・・・他の見方や考え方はないかと多様な視点から考えたりする**批判的思考力**
- ・・・安全な環境づくりや適切な判断の下に行動し、簡単なけがの手当をする**協働する力**

②態度・価値(記載例)

- ・「今自分がまわり(社会)のためにできることはないか」という意識につながる**より良い社会へ参画の意識**

学習指導案(項目のみ) 保健体育科 保健分野

授業者: ●●●●

1. 基本情報
 - ・日時 ・場所 ・学年: 第5 学年 36 名
2. 単元名
 - 「けがの防止」～君にもできる, やってみよう! つなぐ命～(保健)
3. 単元について
 - 3.1 単元の特性
 - (1)教科からみた特性
 - (2)汎用的スキルや態度・価値の育成の観点からみた特性
 - 3.2 単元の目標
 - (1)単元の目標
 - (2)新しい教育モデルとして重点的に育成すべき内容
 - ①汎用的スキル
 - ②態度・価値
 - 3.3 児童の実態
 - 3.4 教材観
 - 3.5 指導上の工夫
 - 視点1: 課題解決に取り組むことができる手立て
 - 視点2: 思考力・判断力等を高める手立て
 - 視点3: 仲間と協力して行動する意識を高める手立て
 - 3.6 単元の評価計画(評価規準・評価方法)
 - 3.7 単元の指導計画(全5 時間)
4. 本時について
 - 4.1 本時の目標
 - 4.2 評価規準
 - 4.3 前時までの学習者
 - 4.4 本時の学習活動と教材
 - 4.5 準備物
 - 4.6 本時(5/5 時)の学習指導過程
 - 4.7 板書計画
 - 4.8 教室内配置図(オープンスペース)

3-(2) 指導 : 学校全体でコンピテンシー育成授業に取り組む

広島県立広高等学校の取組

- 学校全体でコンピテンシー育成のためのシステム構築と運用
- 校長を中心に、育成と評価の委員会が運営
- すべての授業は自由に参観可能
- 共通指導案format(右例)によって教科横断的な視点を明確化し、授業参観で参照

共通指導案(STP)のポイント

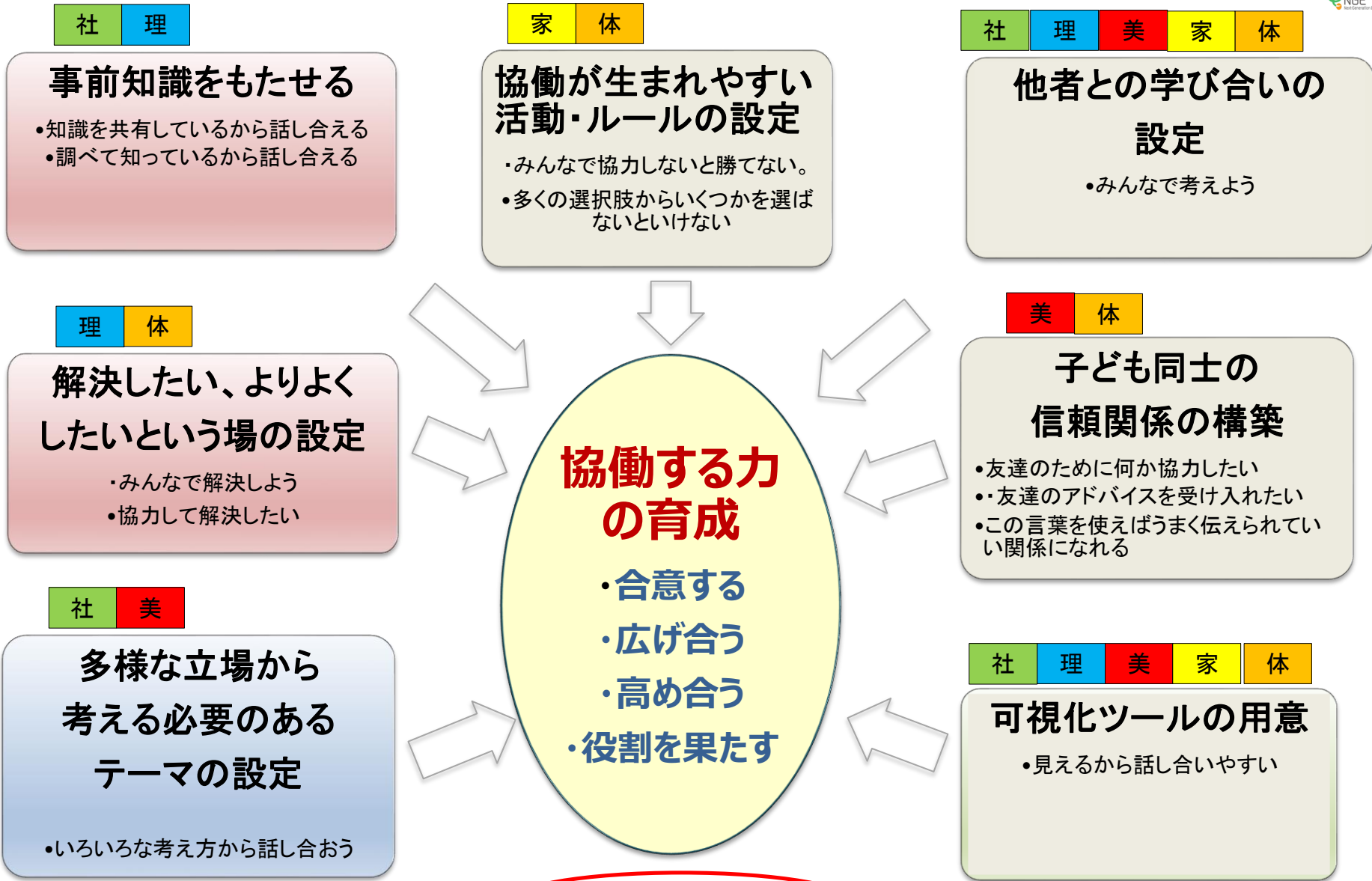
- 活用するコンピテンシー欄(知識・技能・態度)でtargetを明示
- 思考を深める問いを明示
- コンピテンシーに対するルーブリックを明示し集計

- 全校でカリキュラム管理と運用
- Teacher Collaboration の実践
- 教科横断でのCompetency育成

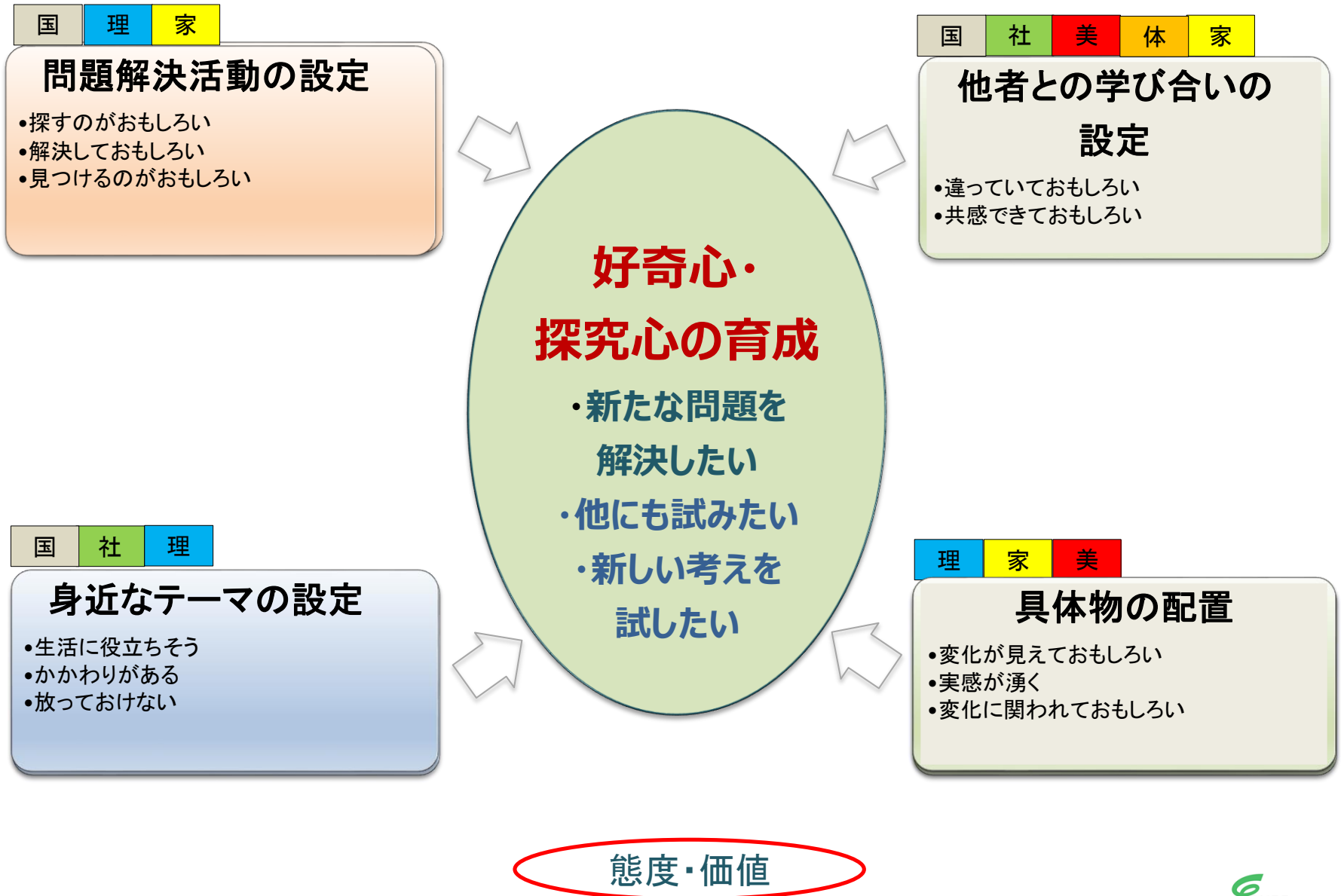
H30 相互授業参観用		広島県立広高等学校 作成	
STP (Simple Teaching Plan)			
教科		科目	
指導者		指導教室	年 組 (教室)
指導日	平成 年 月 日	指導時間	: ~ :
単元名			
つきたい力			
活用する コンピテンシー	【核となる知識=Core Knowledge】		
	【核となる技能=Core Skill】 ① ディスカッション ② セッション ③ ペアワーク ④ スタディースキル ⑤ リサーチスキル ⑥ スピーチスキル ⑦ ロジカルシンキング ⑧ ライティング		
	【核となる態度=Core Attitude】 ⑨ 協調性 ⑩ 柔軟性 ⑪ 適応力 ⑫ 忍耐力 ⑬ 回復力 ⑭ リーダーシップ ⑮ 積極性 ⑯ 責任感		
課題			
思考を深める 問い			
活用する コンピテンシー に対する ルーブリック	5		
	4		
	3		
	2		
	1		
指導過程		学習活動	指導
	導入		指導上の留意点
	展開		
	まとめ		

注目してほしい展開に「★」を付してください。

3-(3) 指導：「協働する力を」育成する手立て



3-(3) 指導 : 「好奇心・探究心」を育成する手立て



4 普及 : 授業動画配信システム(21CoDOMoS)の活用



知識・技能・人間性を育成する場面

全体で、今日あんまり時間取れないんだけど、やってみようか。

人間性を育てる子どもの「改善点を話し合うべき」との意見を共有する

指導者のコメント

研究者・協力者のコメント

タイムラインコメント

時間	コメント

いいね!を表示

投稿 0 コメント

0:32:45 0:50:22

* 複数の視点からの授業動画を視聴し、

* 教師や研究者の解説を聴き、

* 授業についてのディスカッションを行う

タイトル: 21CoDOMoS : 次世代教育研究推進機構
国語

もっと見る

ディスカッション

投稿

送信

関連資料ダウンロード

- 黒板 PDF 313KB
- ノート PDF 104KB
- 指導案 PDF 1MB
- その他 PDF 1MB



成果と課題

これまでの成果と課題

授業でのコンピ
テンシー育成の
可能性明示

Curriculum Contents
Mapping(CCM)の実践、
教員の協働を支援

OECDとの活動を通じて得られた成果

学習成果を長いスパン
でとらえ、児童生徒の
将来像を明確に意識

教科教育・教科専門の
研究者と教員が共通の
視点と方法論で検討

<http://www.u-gakugei.ac.jp/~jisedai/index.html>

jisedai@u-gakugei.ac.jp

ありがとうございました

